

第3章

健康づくりの指標の評価と 今後の目標

1. 篠山市のめざす姿

篠山市のめざす姿は、ヘルスプロモーションの理念に基づいて、市民アンケート調査に寄せられた意見等をもとに導き出しています。そして本計画における篠山市の目指す姿や目標は、国が示した健康日本21(第2次)を踏まえ、「健康ささやま21計画」で策定した篠山市のめざす姿や目標を継承する形で策定します。

《篠山市》の めざす姿

私たちが大切にしたいもの
健康！ふれあい！笑顔！
～ひとりひとりが生き生きと元気で安心して暮らせるまち～

《乳幼児期》の めざす姿

のびのびと元気に、人として心身ともに成長できる

《学童・思春期》の めざす姿

すこやかな心身の成長の為に、ともに遊び、学び、自ら考え行動する

《青年期》の めざす姿

- ・自分自身の健康に関心を持ち、仕事や家庭において充実した生活が送れる
- ・さまざまな交流を通じ、仲間づくりをひろげ、明るく元気なまちになるようリーダーシップがとれる

《壮年期》の めざす姿

仕事で充実し、食や運動を楽しみ、人との交流を大切にしながら、生きがいを感じることができる

《高齢期》の めざす姿

自らが健康に気をつけ、人との交流を持ちながら、ステキな笑顔で安心して、暮らすことができる

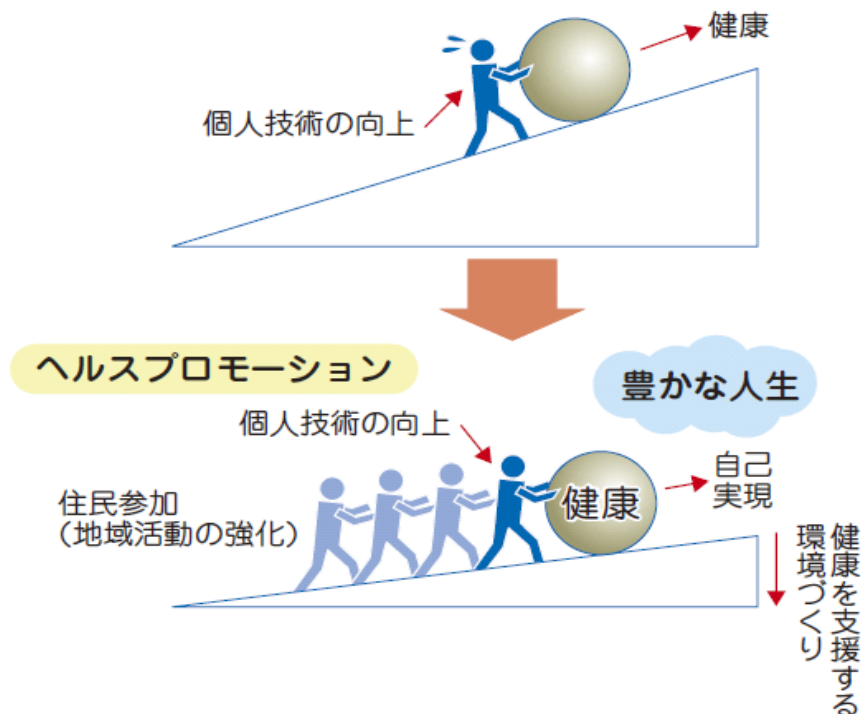
2. 健康づくりの考え方

健康づくりは、主役である市民一人ひとりの価値観に基づき、自らの意思決定によって取り組みます。しかし、「健康づくりの概念図」にあるように、健康づくりは坂道を登るようなもので、実践は容易ではありません。そこで、「ヘルスプロモーション」の理念を基に、健康に関心

のある人も関心の薄い人も容易に健康づくりに取り組めるよう、環境やサービスの整備などの地域づくりを行う必要があります。一人ひとりが行動を継続できるよう社会全体が支援するということです。これにより、坂道の傾斜がなだらかになり楽に登ることができます。また、一人の力ではこの坂道を登ることが困難であるため、みんなで後押しすることで、“めざす姿”の実現をより促進します。個人から集団へ、そして地域へ広げていく視点をもって健康づくり・地域づくりを行っていくことが「ヘルスプロモーション」なのです。

ここで言う健康とは、身体や心の健康のみを指すものではありません。例えば障がいや病気を抱えていても、その人が自分の人生をいかに充実したものとして生きられるかということも、健康の重要な意味と考えます。

(健康づくりの概念図)



3. 健康づくりの指標の評価と今後の目標

健康づくりの指標の評価は、76 項目の数値目標に対して「食育と健康に関するアンケート調査」(2013)の結果と、これまでの取り組み実績等を策定時の数値目標と比較し、下記の判定区分に基づき評価しました。

※各指標における評価区分について

評価区分	内 容
★★★	計画策定時の値が目標値に達している
★★	計画策定時の値が目標値に近づいているまたは変化なし
★	計画策定時の値が目標値より遠ざかっている
—	値がない等のため評価できない